

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	23068
課題名	急性尿閉患者に対するドレナージ後血尿の原因探索
研究期間	西暦 2023 年 7 月 24 日（実施許可日） ～2024 年 3 月 31 日
研究の対象	2000/1/1～2023/12/31 に共同研究機関（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）で急性尿閉と診断され、経尿道的ドレナージを受けられた方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：診療記録（性別、年齢、既往歴、治療歴）、採血、検尿・尿沈渣、経尿道的にドレナージを受けた際のドレナージ尿量および肉眼的血尿の有無、その後の後経過の診療記録、等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先：旭川医科大学）（提供方法：パスワードをかけたファイルによる電子的配信、等） <input type="checkbox"/> 海外へ提供（国名： ）（個人情報保護に関する制度の有無： ）（提供方法： ） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ） データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、共同研究機関が保管・管理します。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用/提供予定日（開始日 2023 年 9 月 1 日）
研究組織	<u>研究代表機関</u> 旭川医科大学病院臨床研究支援センター・教授 松本 成史（研究代表者） <u>共同研究機関（実施機関）</u> 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 泌尿器科 水野秀紀
研究の意義、目的	膀胱内に尿が充満しているにもかかわらず、急に排尿がまったく不可能になった状態のことを急性尿閉と言います。急性尿閉の治療のために、尿道カテーテル留置や導尿によるドレナージが必要になりますが、この際に肉眼的血尿を呈する患者様さんがおられます。急性尿閉に対するドレナージを受けた患者さんの状況を調査します。
研究の方法	急性尿閉に対するドレナージを受けた患者さんの背景や採血、検尿・尿沈渣の結果、ドレナージを受けた際に排出された尿量および肉眼的血尿の有無、その後の後経過を、診療記録を用いて検討します。
その他	

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。</p> <p>診療情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究代表者： 旭川市緑が丘東2条1-1-1 0166-68-2618 旭川医科大学病院臨床研究支援センター 松本 成史</p>
---------	--